



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成25年6月18日(火)
第2635回 例会
(本年度第44回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(6/25)のメインプログラム

最終例会

次週(7/2)のメインプログラム

2013-2014年度 第1回例会

会長挨拶

阿部純次君

<先週・今週の行事報告>

先週は、今年度最終の第5回クラブ協議会を開催させていただきました。15委員会の委員長・委員・理事の方より、不在委員会は活動報告書提出により、2012-2013年度の活動報告を発表していただきました。活動目標に対して、出席率の向上と会員数純増を除いて、ほぼ目標達成という報告をいただきました。会員皆様のこの一年の活躍・努力に対し心より感謝申し上げますと同時に御礼申し上げます。

6/17(月)に地区グローバル補助金委員会が天童市で開催され、嶺岸会長エレクトが出席して参りました。

6/15(土)に山王ナイトバザールに鶴岡RACが出店し大盛況のうち終了しました。

今年度も今日の例会と来週の最終夜例会を含め、例会は2回、10日余りの日数を残すのみとなりました。来週の最終例会は、菅原隆之君の歓迎会ということにもなっております。多数の皆様の出席をお願いしたいと思います。

さて、今日は会長挨拶としては、最後の会長報告のようなものですから、「ロータリアンの3大義務」について確認復習をさせていただきたいと思います。

「ロータリアンの3大義務」について

1.「例会の出席」、2.「会費の納入」、3.「雑誌の購読」。この3つがロータリアンの3大義務といわれております。

1番目として、ロータリーは、「先ず例会出席から」と言われています。例会は基本的に週1回開催されます。やむを得ない事情により欠席した場合は、その例会の前後14日以内に、ほかのロータリークラブの例会やそのほかロータリークラブ定款に定められている、他の会合に出席することによって、欠席をメイクアップ(補填)することができると定めております。

『例会出席は、義務というより自分に権利と定めていただきまして、例会出席の権利を大いに発揮していただき、出席率を高めてくれるようお願いする次第です。』

2番目として、「会費の納入」もロータリアンの義務の一つとなっています。皆様には、クラブで定めた金額を期日内に納入していただくようお願いする次第です。

3番目が、「雑誌の購読」です。「ロータリーの友」も、ロータリーの地域雑誌に指定されていますから「ロータリーの友」か「The Rotarian」を購読すれば、その義務を果たすことになります。「ロータリーの友」は、より身近で、より親しまれる「友誌」を目指しております。ロータリー自身の活動のため、役立てていただきたいと唱えております。

皆さん、ロータリアンである以上この3大義務を改めて認識していただくことをお願いいたします。

幹事報告

西川 富美子 君

菅原AG

○会長・幹事反省会のご案内

期 日:7月12日(金)

時 間:午後6時~

場 所:東京第一ホテル鶴岡

登録料:会長・幹事4,000円/一人

締 切:7月9日(火)

GE事務所

○クラブ奉仕グループセミナーのご案内

日 時:7月7日(日)

場 所:天童ホテル

参加者:会長・幹事・クラブ奉仕グループ

登録料:一人3,000円 締 切:6月24日(月)

○インターアクト新旧合同連絡協議会

日 時:7月12日(金) 16:00~

場 所:丹泉ホテル

出席報告

会 員 数	41名
出 席	20名
出 席 率	54.05%
前々回確定出席率	91.89%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

登録料:一人10,000円

(懇親会のみ5,000円/会議のみ無料)

締 切:6月28日(金)

鶴岡RAC

○鶴岡RAC会員総会のご案内

日 時:7月8日(月) 19:30~

場 所:東京第一ホテル鶴岡

登録料:一人1,500円 締切:7月2日(火)

危機管理について

越 智 茂 昭 君

この1年プログラム委員長を会員の皆様のご協力を得てなんとか役目を終えることができそうで、この場をお借りしお礼を申し上げます。特にゲストなど当クラブ以外の方々をお願いしたときなど、日程調整がつかず急遽会員スピーチに変更し大変ご迷惑をお掛けしました。また急にもかかわらず快くお引き受けいただき有難うございました。今日は罪滅ぼしではありませんが、危機管理についてお話をさせていただきます。



1.危機管理

危機管理という言葉が日本で頻繁に使われるようになったのは、1995年1月17日の阪神淡路大震災の後からです。

米国では、日露戦争の終わった翌年1906年4月18日に同じサンフランシスコで起きた地震での甚大な被害を基に危機管理のあり方を研究し、政府の組織そして法律を整え訓練もしてきたおかげで、阪神淡路大震災の6年前1989年10月17日にサンフランシスコで起きた地震では一部に暴動があったものの国の対応が非常に早く被災地にたいする救援その後の復興もスムーズにいきました。

しかし、日本では阪神淡路大震災の教訓が活かされないまま東日本大震災が起き、想定外という言葉で人災とも言える被害がでました。

2.リスクとクライシス

日本語では危機管理と一言で表しますが、米国ではrisk managementとcrisis managementに分かれます。大まかに言いますと、risk managementは事前の準備、crisis managementは緊急時すなわち災害が起きた後の処置を言います。

risk managementは資産運用のときのリスク回避と同じです。すなわち災害時のリスクとなるであろう考えられる事象を想定し、その被害を小さくする、できればゼロにすることです。停電が予想される場合は、予備電源をもつとか、建物が揺れるのであれば、免震構造にするとかです。

crisis managementは災害が起こった時、被害を最小限に押さえる事です。災害が起こる場所も時間もまして

や被害の大きさ、どのような被害かは事前にわかりません。言葉は悪いですが出たとこ勝負です。被害が発生したら速やかにその被害が拡大しないように対処しなければなりません。

risk managementとcrisis managementは明確に分かれている訳ではなく密接に関連しているものですので日本語では危機管理一つになっています。

3.想定外

想定外という言葉が一時流行りましたが、私たち自衛隊の仲間内では想定外は口にしないことにしています。国を守る者としてのプライドでしょうか。

災害に備えるにはあらゆる事を想定し準備をしておく、そして災害が起こったらその事象に適切に対処していく、これが危機管理では通常のことだからです。

想定外は災害に備える時には自分の想像力不足を認めているものです。また、災害がいつ起こるかは事前にわかりません。災害が起こる場所も事前にわかりません。ましてやどのような被害が発生するかもわかりません。全て想定できません。想定外のことになります。と言うことで想定外は存在しないと私たちは肝に銘じているわけです。

4.防災訓練

どのような被害が発生するか分からない中で訓練する意味があるのかという疑問が生じると思います。

歴史的にみて、経験ではありません、「賢者は歴史に学び愚者は経験に学ぶ」と言う諺がありますがその通りです。過去の被害の状況から数種類のモデルを作り、それについての訓練を体で覚えるまで繰り返し実施することにより、応用が利くようにするのです。人間は大変すぐれています。訓練さえ積みばどんな状況にでも対処できます。

危機管理だけでなく、イベントなどを計画したときなどにも試してみてください。ご静聴有難うございます

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクされた方

木村 節・前田 優・俣野秀樹・西川富美子
佐藤孝子

◎ビジター

仲川昌夫氏(東京東江戸川RC)

スマイル ☺

加藤 亨君 16日父の日に娘より、プレゼントが届きました。

樋渡美智子さん 越智さん、ご苦労様です。危機管理大切な事ですが、案外幼児教育のあり方にも通ずるものがあると感じました。

阿部純次君 越智プログラム委員長。一年間の例会プログラムの構成、そして今日、最後を飾るスピーチありがとうございました。また各委員会・委員・会員の皆様にも一年間の活動本当にありがとうございました。